

昭和電工グループ



アルミ缶リサイクル活動40周年

2014年6月10日

昭和電工株式会社

アルミ缶リサイクル活動推進分科会

1. **昭和電工グループ概要**
2. **アルミ缶のリサイクルについて**
 - 2-1. リサイクルによる環境負荷低減効果
 - 2-2. 日本のアルミ缶リサイクル
3. **当社のアルミ缶リサイクル活動内容**
 - 3-1. 活動の歴史
 - 3-2. 活動の内容と実績
 - 3-3. 活動事例
4. **今後の取り組みについて**

1. 昭和電工グループ概要



昭和電工株式会社

- **本社** 昭和電工株式会社
〒105-8518 東京都港区芝大門1-13-9
- **設立** 1939(昭和14)年6月
- **資本金** 140,564百万円
- **従業員数** 連結10,397人 単独3,985人（出向者を除く）
- **売上高** 連結8,481億円 単独5,777億円
- **事業** 石油化学、化学品、無機、アルミニウム、
セグメント エレクトロニクス、先端電池材料

* 資本金、従業員数、売上高は2013年12月期

1. 昭和電工グループ概要

昭和電工株式会社

当社主要事業について

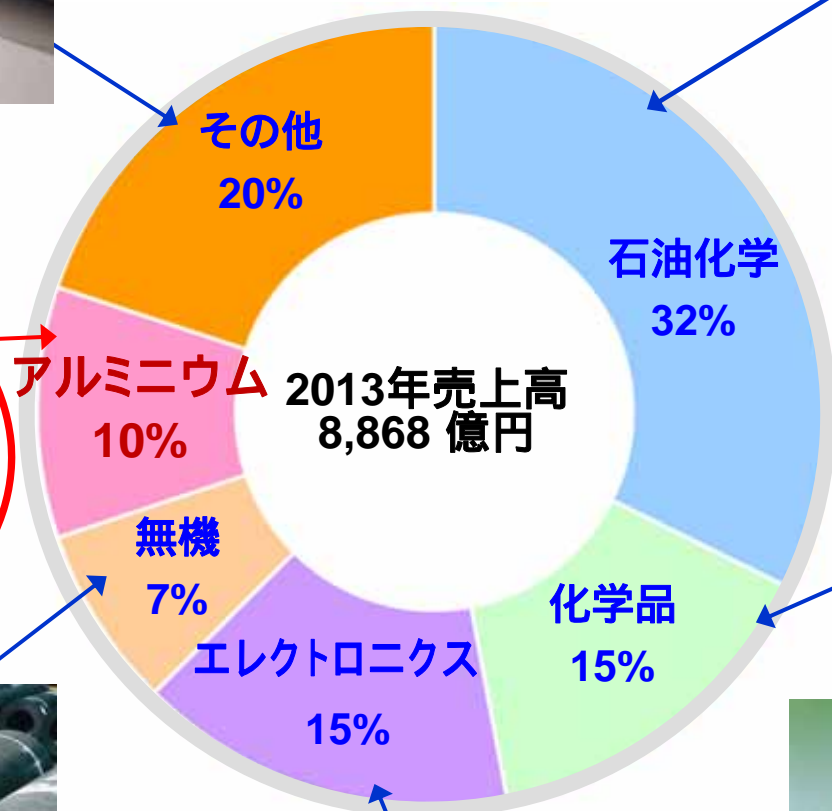
リチウム
イオン電
池材料等



プラスチック原料、合成ゴム原料等



電解コンデンサー用高純度箔、
飲料缶、レーザービームプリン
ター用シリンダー等



化粧品原料、半導体用特殊ガス、繊維原料、工業用ガス等



黒鉛電極(電炉製鋼用電極)、研削材等



ハードディスク、レアアース磁石用合金等

(注) 売上構成比は調整額差引(4%)前

2. アルミ缶のリサイクルについて

2-1. リサイクルによる環境負荷低減効果

アルミ缶の原料となるアルミ地金は原料のボーキサイトからアルミナを経て製造されますが、その製造工程では多大な電力を消費します



回収されたアルミ缶から再生地金をつくるエネルギーは、原料のボーキサイトから全く新しい地金をつくる時のエネルギーの

約3%で済みます

つまり、

97%ものエネルギーが節約
できるのです



2-1. リサイクルによる環境負荷低減効果



昭和電工株式会社

平成24年度に再生地金とされたアルミ缶は約29万t

ボーキサイトから新たに地金作る場合に比べ、約405億MJのエネルギーの節約になります

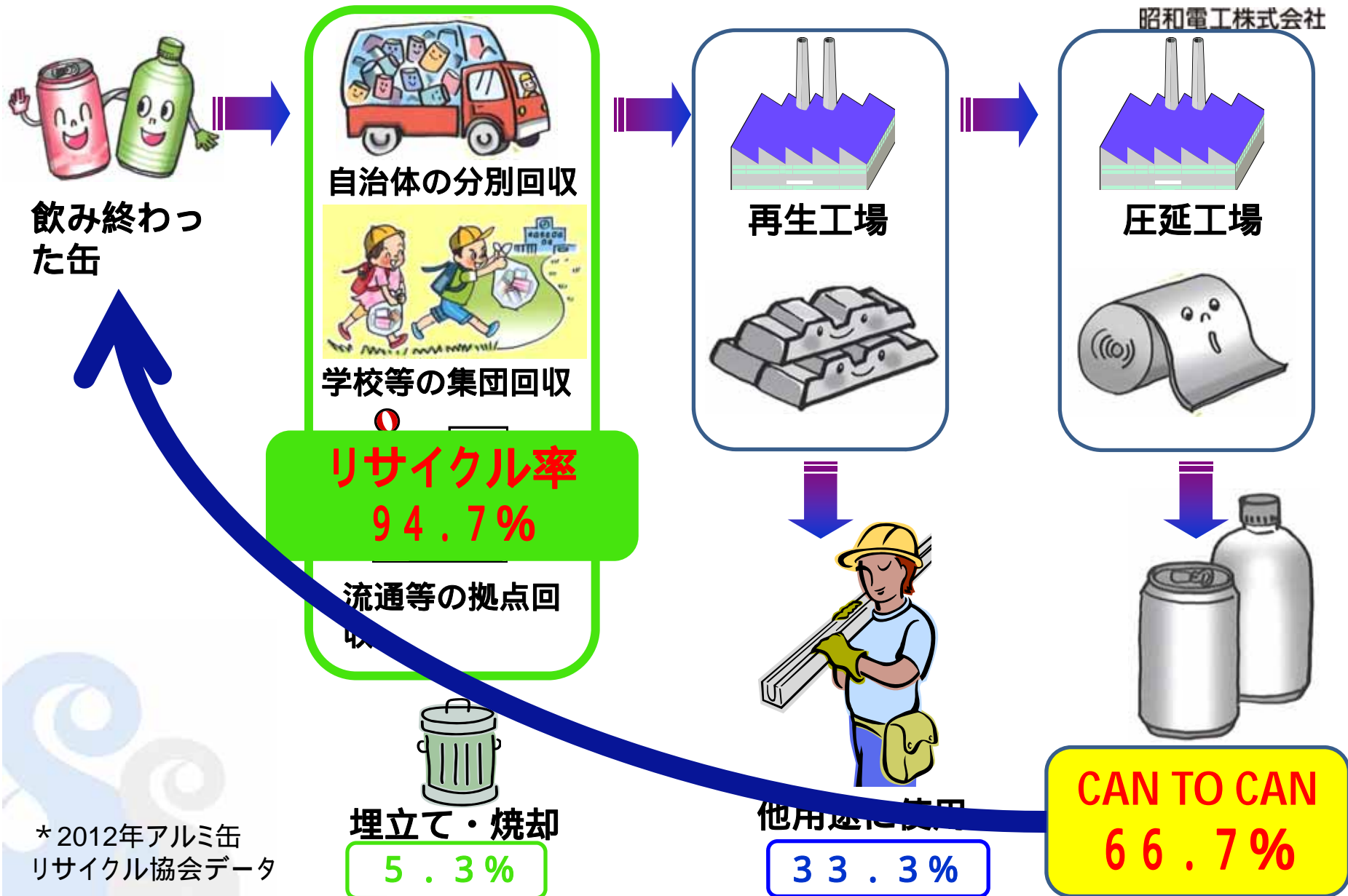


これは電力量に換算しますと63.1億kWhになり、
全国世帯数(5,195万世帯)の約13日分の使用料電力量に相当し、国内家庭電力料金では1,420億円分になります



2-2. 日本のおアルミ缶リサイクル

昭和電工株式会社



* 2012年アルミ缶リサイクル協会データ

3. 当社のアルミ缶リサイクル活動内容

3-1. 昭和電工グループの アルミ缶リサイクル活動の歴史



| 年 | できごと |
|-------|--|
| 1969年 | 昭和アルミニウム缶(株)設立 |
| 1971年 | 日本で初めてアルミ製ビール缶を製造 |
| 1972年 | 昭和アルミニウム(株)従業員へアルミ缶のリサイクルを呼びかける |
| 1973年 | 昭和アルミニウム缶(株)・初代社長の主導で業界団体・オールアルミニウム缶回収協会(現在のアルミ缶リサイクル協会)が発足 |
| 1981年 | 昭和アルミニウム(株)の堺(大阪府)・小山(栃木県)の2事業所で、 近隣ボランティア から使用済みアルミ缶の回収活動をスタート |
| 1990年 | 昭和アルミニウム(株)で全社的なアルミ缶リサイクル活動をスタート。社員からの使用済みアルミ缶の有償回収を開始 |
| 1991年 | 昭和アルミニウム(株)でアルミ缶リサイクル推進協議会が発足、関係会社を含めた企業グループとしてのリサイクル活動がスタート |
| 1995年 | (株)昭和アルミ缶リサイクリングセンターを設立、使用済みアルミ缶を再びアルミ缶用の材料にする体制(Can-to-Can)が整う |
| 2001年 | 昭和アルミニウム(株)と昭和電工(株)の合併 を機に、旧・昭和電工(株)の事業所・関係会社にも アルミ缶リサイクル活動を拡大 |
| 2011年 | アルミ缶リサイクル活動開始から 40周年 を迎える |

各事業場では社内にとどまらず、近隣住民、学校、子供会、自治会、敬老会、福祉施設等とともにアルミ缶の回収活動を行っています

3-2. 活動の内容と実績

【活動の目的】

- ・地球環境の保護と資源の有効活用
- ・活動による収益金の寄付

【2014年度アルミ缶リサイクル活動目標】

スローガン

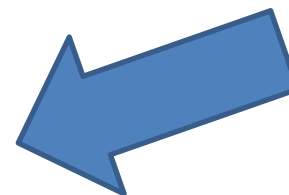
「1日1缶のアルミ缶回収を
達成しよう！」



3-2. 活動の内容と実績

【社員の活動方法】

昭和電工グループ全社員が家庭、地域、職場で回収した使用済みアルミ缶を社内回収BOXに投入



回収したアルミ缶は(株)昭和アルミ缶リサイクルセンター等が回収し、CAN TO CANリサイクルを実施

3-2. 活動の内容と実績

【社員による活動】

- ・社員は「コレクターズコース」と「チャリティコース」を自由に選択

- ・ **コレクターズコース**
回収者はその代金をお支払い。
(町内会等の回収缶を取りまとめ、町内会へ収益金を還元する等)
- ・ **チャリティコース**
回収代金は会社に取りまとめ、福祉団体等に寄付しています。

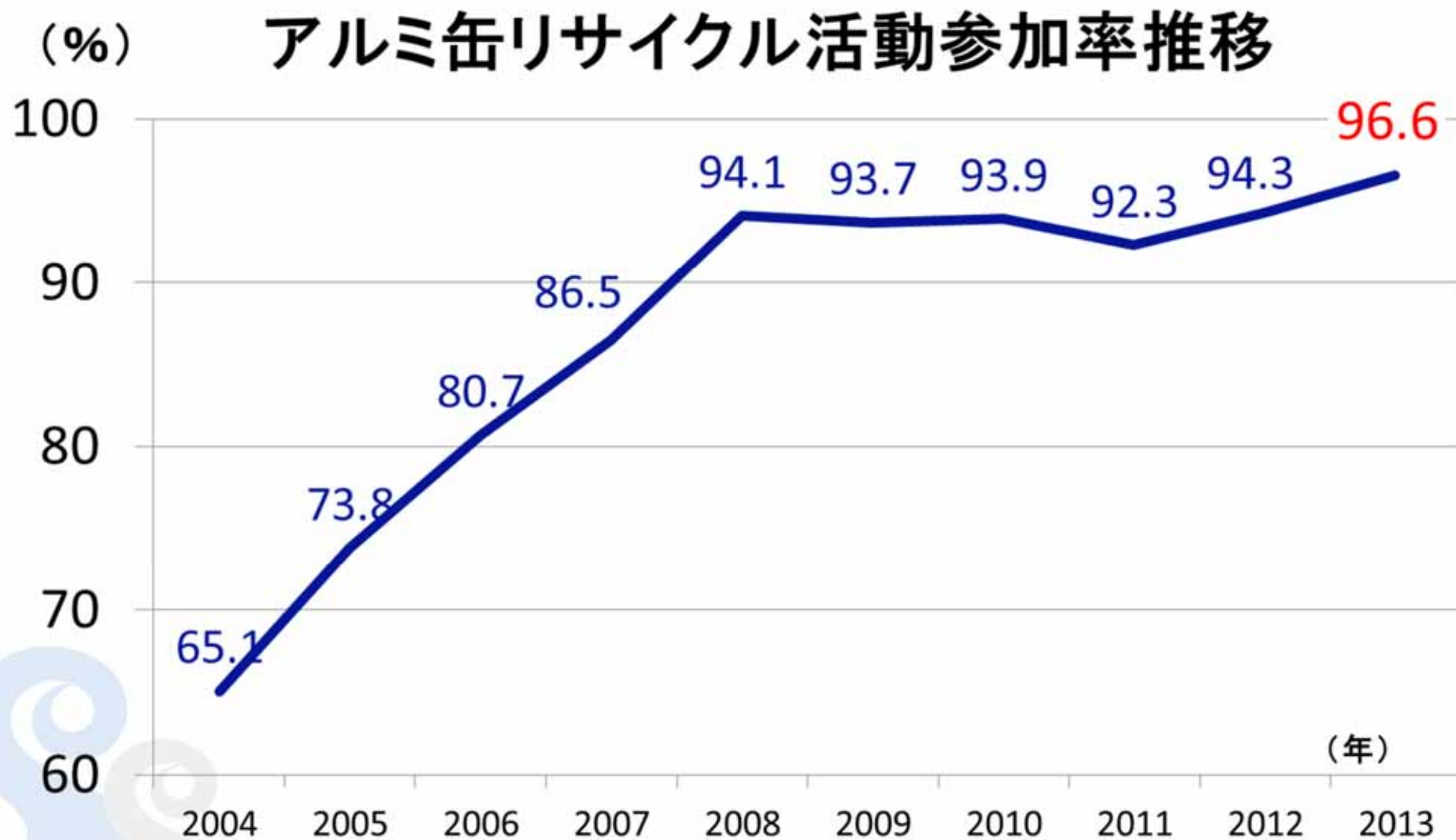
3-2. 活動の内容と実績

【表彰制度】

アルミ缶リサイクル活動を活性化させるため社内表彰制度を設け、活動実績が優秀な事業場・個人に対し団体表彰、個人表彰を毎年実施

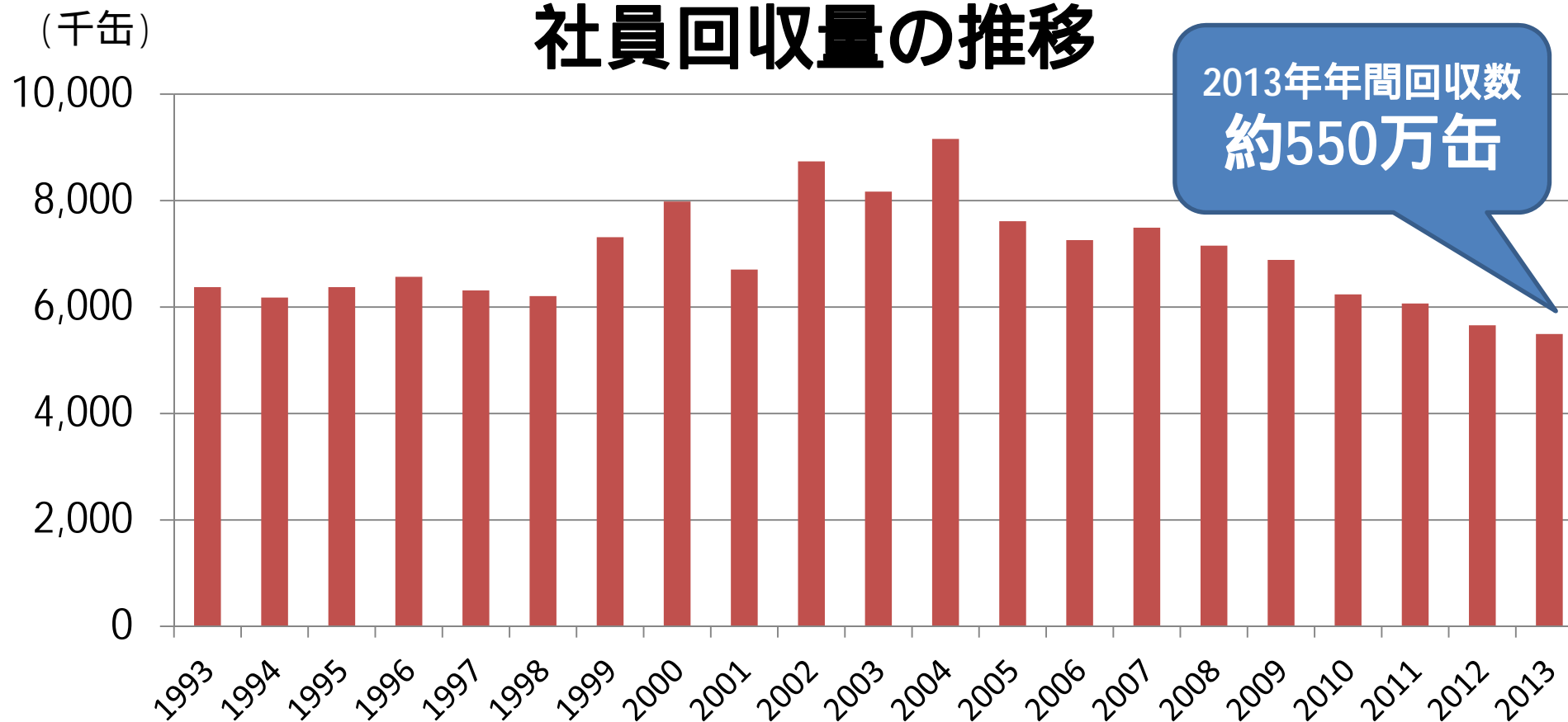


3-2. 活動の内容と実績



3-2. 活動の内容と実績

社員回収量の推移

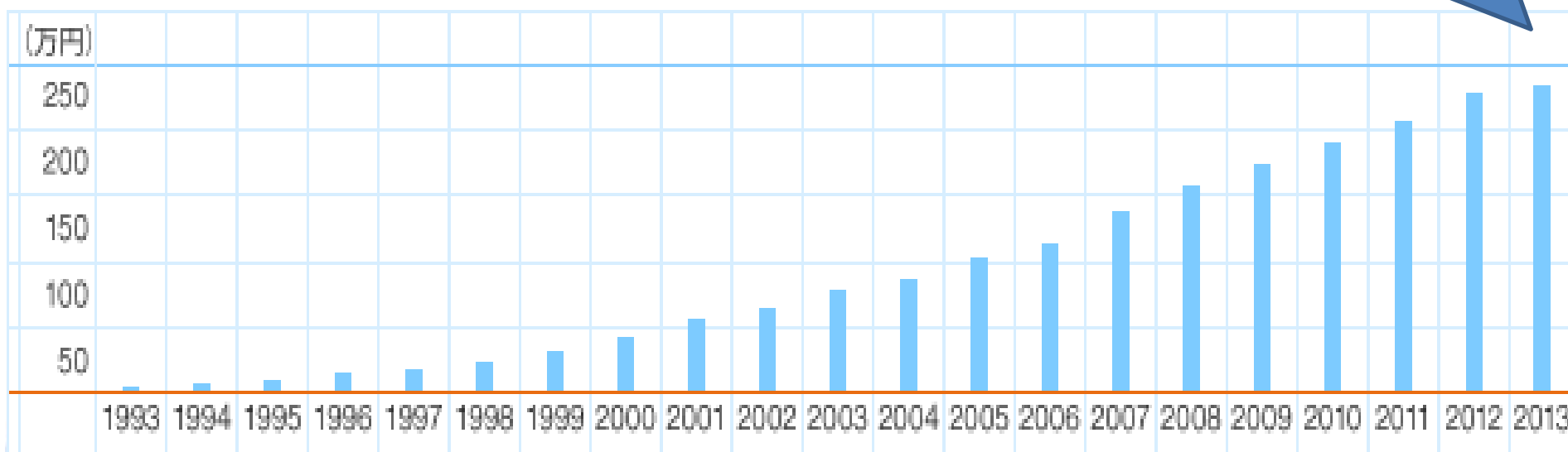


社員回収、地域回収他を合わせると、
1971年の活動開始から2013年までの42年間で
約399億缶 (= 350ml缶 = 約60万t) を回収！

3-2. 活動の内容と実績

アルミ缶リサイクル活動 寄付金額累積

2013年までの累積
約2400万円



3-3. 活動事例

清掃活動による回収



琵琶湖松原水泳場の清掃活動
(彦根事業所)

3-3. 活動事例

学校・福祉施設との連携



小学校でのアルミ缶回収
(喜多方事業所)



自立支援施設でのアルミ缶回収
(小山事業所)



3-3. 活動事例

収益金の寄付
地域の社会福祉団体、
障がい者サークル等へ
寄付を行っています



4. 今後の取り組みについて

4. 今後の取り組みについて

社内広報活動の推進
や表彰制度の充実により
回収缶数UPを！

今後も昭和電工グループ
社員一丸となって
アルミ缶回収活動に
取り組んでいきます

40周年記念ポスター

SHOWA
DENKO



ご清聴ありがとうございました

夢や、願いや、思いつきに
ハッピーエンドを。

